

地域医療連携室だより

Vol. 66

平成 26 年 12 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目9番9号

TEL 077-526-8192

http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/

「大津市民病院は地域医療支援病院です」

当院は、平成15年6月滋賀県下で最初に地域医療支援病院の 指定を受け、現在まで地域の医療機関との連携を重視した医療を 行ってまいりました。そこで当院が地域医療支援病院として十分に 役割を果たすことができているのか、あらためて考えてみたいと思 います。



患者総合支援センター 高見 史朗

地域医療支援病院の要件(抜粋)

- ①開設主体が、国、都道府県、市町村、特別医療法人などの定められた医療機関であること
- 2200 床以上の病床とふさわしい設備を有すること
- ③地域の医療従事者と医療機器などの設備や入院設備を共同利用できる体制を整えていること
- ④救急医療を提供する能力を有すること
- ⑤地域の医療従事者の資質向上のための研修会をおこなっていること
- ⑥地域の医療機関からの紹介患者を中心とした医療を行っていること

要件にある①、②はもとより③に関しては、頭腹部血管造影装置の更新・内視鏡手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』の導入とクリアできていると思います。④、⑤に関しても「ER おおつ」はじめ各種研修会の開催と取り組んでいます。

ですが、⑥におきましては自助努力のみで行えるものではなく地域の先生方はじめ当院を受診していただくすべての方々にお願いするところとなります。

日常診療の1シーン - - -

《患者さん》80歳、女性

《訴え》1~2 週間前からの便通異常を訴え当院の消化器内科を受診。「かかりつけ医」から 投薬を受けておられるようだが薬剤名が不明、腹部に術創があるが、本人の話からは、い つ、どこで、何の手術を受けられたのかはっきりしない。

「かかりつけ医」の先生がわかれば診療情報がいただけ正確な診断が早くできるのに・・・

このように普段「かかりつけ医」で診察を受けておられる方が、急性の症状で外来初診される場合があります。来院された日の外来患者さんの数が多ければ、診察までの待ち時間が長くなります。患者さんの普段の診療内容や投薬内容を問診するのに時間を要します。高齢患者さんの多い最近の状況では、時には正確な問診ができないかもしれません。

また、「かかりつけ医」の先生の紹介なしに受診された患者さんの場合、初診料とは別に選定療養費 2160 円が必要になります。(紹介の場合かかりつけ医での診察料の他に診療情報提供代として患者さんは 1 割負担で 250 円、3 割負担で 750 円のお支払いとなりますが選定療養費に比べ少額で済みます。)そのうえ、当院で施行した検査結果がその後の「かかりつけ医」の先生方の治療に反映しないことになります。これでは、「患者」「かかりつけ医」「我々」の三者の誰にも不利益となります。

このようなケースでは、前日までに地域医療連携室へ診療のご依頼をいただければ、この不利益は解消します。当院では、前日までに地域医療連携室を通じてご紹介いただいた患者さんは、診察予約時間を設定し、最優先で時間厳守の診療を心がけるように努めます。そして、「かかりつけ医」の先生方の今後の診療にお役に立てるように、当院での診療情報の詳細をお返事させていただきます。勿論、当院での継続治療が必要であれば、「かかりつけ医」の先生と共同で診療していくことも患者さんにとってはメリットのあることになります。上記のように「かかりつけ医」の先生をお持ちの患者さんが紹介状なしに来院された場合には、当院から診療情報ご提供の依頼をさせていただくことがあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、このシステムづくりのためには、患者さんのご理解も重要です。当院では、大判の案内ポスターを院内各所に掲示するとともに患者さんの診察後にも個別に案内するように努めています。勿論、医師をはじめ当院の全職員もこのことを認知する必要があります。地域医療連携室はじめ医事課等とも協力して、院内職員に向けても、今まで以上に発信していく準備をしています。「地域医療連携室を経由した初診」が当院受診の主流になるように努力したいと考えております。

かかりつけ医登録制度を始めました。



12月1日より、かかりつけ医登録制度を始めました。当院を受診された患者さんに「かかりつけ医」を申請していただき、登録させていただく制度です。この制度を利用して、「かかりつけ医」の先生へは、当院の全ての診療科の患者さんの診療情報を、迅速かつ確実にご連絡させていただきたいと考えています。また、当院での診療が必要な場合の患者さんのご紹介がよりスムーズになることも期待しています。先ずは入院患者さんから本制度を開始します。今後は、外来患者さんへも順次適応を広げていく予定です。本制度の運用につきまして、皆様のご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

健康(講座) 大津市民病院大学リポート

本年度最後の講座を10月28日に開催しました。「消化器がんとうまくつきあう」と題し、若林直樹 (消化器内科診療部長)が講師をつとめました。がんは2人に1人が罹る身近な病気です。うまく つきあうポイントは、予防・早期発見・早期治療・集学的治療。また、ピロリ菌と胃がんの関係や画 像を用いての症例説明に改めて日常生活の大切さを実感したとの感想をいただきました。





大津市民病院大学・健康講座は全講座 修了いたしました。

来年度も魅力あるテーマで開催していき たいと思います。



公開講座



11月4日に大津市民病院大学・出前講座「認知症を予 防する!!」を開催しまた。

認知症原因疾患のひとつであるアルツハイマー型認知症

を中心に話をさせていただきました。 「これから通る道、良く理解できた」や 「家族または周囲の認知症の人への 接し方を教えて欲しい」など様々なご 意見をいただきました。



山田 幸子 (認知症看護認定看護師)

11月14日の世界糖尿病デーにあわせ、11月8日 に大津市民病院 2 階外来ホールにて「糖尿病 110 番」 **~糖尿病をもっと知ろう~**を開催しました。





11月7日から1週間 ~ブルーライトアップ~









第18回 総合内科症例検討会 を開催します。

時:12月4日(木) 17:30~ \Box

所: 大津市民病院本館 9F 大会議室 A.B

テーマ:「1週間前から倦怠感が出現し来院、好酸球増多を指摘された高齢男性の1例」

症例提示: 滝本とも子医師(内科) 公開講座としていますので、院外からも多数のご参加をお待ちしています。

NST勉強会 大津市民病院 9 階大会議室 17:30~19:00

※筆記用具・電卓をご持参ください。

1月22日(木):「脳血管障害を併発したⅡ型糖尿病患者の栄養療法」

峠岡 佑典(内科医長)

2月26日(木):「簡易懸濁法、経腸・経静脈栄養」

鄭 智佳(薬剤師)

「NSTと口腔衛生管理」

山本 伸子(歯科衛生士)

3月26日(木):「摂食・嚥下障害患者の栄養管理」

田中 順子(消化器内科医員)

年末年始のお知らせ

大津市民病院地域医療連携室は、 12月27日(土)12:30から1月4日(日) までお休みをいただきます。

尚、予約は随時受付させていただき ます。

